

## QMX - 始め方

フォーラムなどで改訂が続いていることについて、どの時点で組み立て作業を始めたらいいいのかという不安がフォーラムで話題になっています。

ハンス・サマーズ

8/9 午後 1 時 47 分 #107084

こんにちはフィル

私が見る一般的なエラーは、人々がこのスレッドでカバーしていないと思います。はんだ付け中またはコンポーネントリードのトリミング中に近くの SMD コンポーネントを壊すことです。スルーホールコンポーネントのリードをはんだ付けするときは、まずパッドの周囲を見回してください。近くの SMD コンポーネント(ある場合)はどこにありますか?、次に、SMD コンポーネントがない方向からはんだごてを持ち込むようにしてください。ワイヤーカッターも同じです!。そうすれば、SMD コンデンサが破損する可能性を回避できます。彼らは崩れるのが大好きです。そして、鋭利なワイヤーカッターを使用してください。!鈍いものを使用すると、ボードに対してレバレッジをかけようとし、ワイヤーの端を引き離したり、切断したりする傾向があります。もちろん、ワイヤートリマーの頭の下にあるものはすべて押しつぶされる(崩れる)可能性があります。

私の娘(9 歳)は、いくつかの QDX を成功裏に構築しました。彼女はまだ QMX を試していません。しかし、彼女に教えるとき、はんだごてとカッターを正しい方向から持ってきて、近くの SMD から遠ざけることがいかに重要であるかを特に気を付けて教えたいと思います。

私はマニュアルでこれらすべてについて言及しました。

話は別ですが、-先日素敵な QSO のことです。QCX-classic と 50W PA プロトタイプをすべて 1 つのボックスに組み込んだリグを使って、7015kHz の CW で最初の CQ を出した後、とてもレアな時間を過ごしました。私は次々にコールを受け続け、誰からも呼ばれなくなるまで、それが 9QSO を行いました。その中で印象に残ったのは、ウィーンのウィリー OE6WYC から署名/QMX を付けて呼ばれ 599 だったことです。彼の QRZ ページから添付のスクリーンショットを参照してください、私は彼が彼の新しい QMX で行った 6 番目の QSO でした。私たちはしばらくおしゃべりをしました、そして彼は幸せそうに見えました、そしてそれは素晴らしい音でした!

WSJT-X v2.1.0 by K1JT

File Configurations View Mode Decode Save Tools Help

**Band Activity**

UTC	dB	DT	Freq	Message
115045	-13	0.3	547	<DL5BCF> RV30RR RRR
115045	-12	0.9	1499	SP8HBD UA3YA K073
115045	-7	0.1	1808	DJ1JAY OH4KRN KP32
----- 20m -----				
115115	2	-1.1	1170	G0UPL SP8NFO R-13
115115	9	0.3	242	CQ UT4VL KN58 Ukraine
115115	-17	1.2	484	CQ IU1DXU JN35 Italy
115115	-14	0.3	585	CQ DH9FAV JN49 Germany
115115	-11	0.2	650	G0KPH S58MT RRR
115115	-16	0.1	837	W4AFB G8IXM -18
115115	-16	0.3	1052	CQ GM4SJB IO88 Scotland
115115	-10	0.3	1108	OH8MXJ SA6GOM J057
115115	-16	0.9	1333	G1PQR UA3YA K073
115115	4	0.1	1500	SP8HBD RU7C 73
115115	2	0.2	1552	G4CPA 9A4ZM JN64
115115	2	0.4	1813	PA8DC IK4LZH RR73
115115	-15	0.1	2110	CQ LX1HD JN39 Luxembourg
115115	-14	0.1	2458	OH8MXJ PE1MHY +10
115115	-9	0.1	2525	DL5BCF RV3DKH +01
115115	-1	0.1	2578	CQ RW30RR EU Russia
115115	-19	0.3	2700	CQ RK3DMA K086 EU Russia
115115	-3	0.1	1808	DJ1JAY OH4KRN KP32
----- 20m -----				
115145	-3	-1.2	1170	G0UPL SP8NFO 73
115145	12	0.3	243	CQ UT4VL KN58 Ukraine
115145	-8	1.2	484	CQ IU1DXU JN35 Italy
115145	-16	0.3	546	BH3TTU <RV30RR> -03
115145	-15	0.3	585	CQ DH9FAV JN49 Germany
115145	-9	0.1	649	G0KPH S58MT RRR
115145	-18	1.1	926	CQ RV0CT M006 AS Russia
115145	-19	0.3	1052	CQ GM4SJB IO88 Scotland
115145	-12	0.4	1108	OH8MXJ SA6GOM R-11
115145	-17	0.1	1247	OH8MXJ DL3BRE/P J062
115145	-16	0.9	1333	G1PQR UA3YA K073
115145	4	0.1	1552	G4CPA 9A4ZM JN64
115145	0	0.4	1813	CQ IK4LZH JN54 Italy
115145	-15	0.1	2110	4X1NX LX1HD -12
115145	-11	0.1	2458	OH8MXJ PE1MHY +10
115145	1	0.1	2578	CQ RW30RR EU Russia
115145	-18	0.3	2700	CQ RK3DMA K086 EU Russia
115145	-13	0.2	1164	SM3MLX DK7BP JN58
115145	-6	0.1	1808	DJ1JAY OH4KRN KP32

**Rx Frequency**

UTC	dB	DT	Freq	Message
115032	Tx		1171	CQ G0UPL KM46
115045	1	-1.1	1170	G0UPL SP8NFO KN09
115100	Tx		1171	SP8NFO G0UPL +01
115115	2	-1.1	1170	G0UPL SP8NFO R-13
115130	Tx		1171	SP8NFO G0UPL RRR
115145	-3	-1.2	1170	G0UPL SP8NFO 73
115145	-13	0.2	1164	SM3MLX DK7BP JN58
115200	Tx		1171	SP8NFO G0UPL 73

CQ only  
  Log QSO  
  Stop  
  Monitor  
  Erase  
  Decode  
  Enable Tx  
  Halt Tx  
  Tune  
  Menus

20m 14.074 000

DX Call:

DX Grid:

Lookup:  Add:

2023 Jul 20 11:52:05

Tx even/1st    Hold Tx Freq

Tx 1171 Hz   Rx 1170 Hz

Report -3    Auto Seq    Call 1st

Generate Std Msgs

Next:  Tx 1    Tx 2    Tx 3    Tx 4    Tx 5    Tx 6

SP8NFO G0UPL 73

CQ G0UPL KM46

Tx: SP8NFO G0UPL 73   FT8   Last Tx: SP8NFO G0UPL RRR   5/15   WD:99m